

# TEAMSTUDIO® DESIGN MANAGER

## コンポーネント・ライブラリ管理システム

- ④ 設計要素の再利用と従属要素の維持
- ④ 従属要素を対象データベースに自動コピー
- ④ 潜在的なテンプレート変更の影響を分析
- ④ テンプレートまたはデータベースのコンポーネント・ライブラリ化
- ④ 良質なコードが含まれる設計ライブラリ利用時の信頼性向上



コード再利用は開発のベストプラクティスの中心となる原則です。以前作成した機能をまた1から新たにコーディングすることは貴重な時間とリソースの浪費ではありませんか？

コード再利用のメリットは明白ですが Teamstudio Design Manager を使用せずこれを Notes® の標準機能だけで実現することは困難です。Design Manager を使用すると開発者は特定のデータベース設計に対して特定の設計を検索、設計の内容のプレビュー、再利用できる設計要素のライブラリを作成しその共有を実現できます。Design Manager は組織の開発標準に適合したコンポーネントとしての標準ライブラリを使ってこれから作業する Notes データベースへ設計を容易に追加することができます。

### 関連商品

- ④ TEAMSTUDIO ANALYZER
- ④ TEAMSTUDIO CIAO!®
- ④ TEAMSTUDIO DELTA
- ④ TEAMSTUDIO CONFIGURATOR
- ④ TEAMSTUDIO PROFILER

### コピー & ペーストより優れた、コードの再利用方法

既存のアプリケーションやテンプレートからフォームやビューを新規アプリケーションへコピー & ペーストすることは最も典型的な再利用方法です。しかし、Notes の設計要素は他の設計要素と密接に関連をもつ構造になっていることが多く、設計要素単体のコピーだけでは正しく動作しない場合がほとんどです。このようなアプリケーションの動作に必要な従属関係をもつサブフォームや画像といった要素も注意深く選択して漏れなくコピーしなければなりません。

Design Manager を使用すると、設計要素全体あるいは設計の一部をドラッグ & ドロップするだけで自動的にその従属要素を検出し対象データベースと一緒にコピーされます。誤ってデータベース内の従属要素を削除してしまっても「従属要素をスキャン」機能で再度データベース内の設計をスキャンし従属関係が完全な状態になるよう不足の設計を検出してテンプレートからコピーしてくれます。

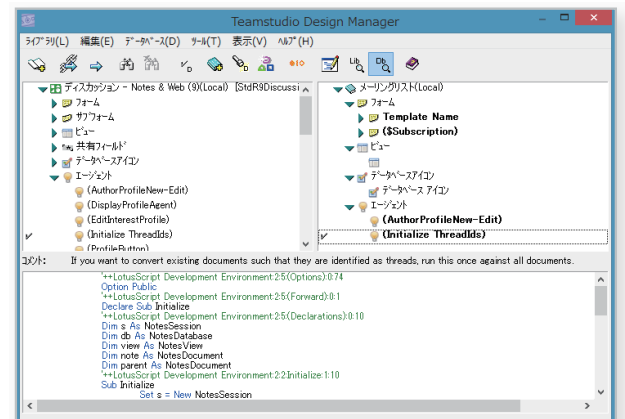
### 実行する前に変更の影響範囲を確認

Design Manager はテンプレートへの設計変更がどのアプリケーションデータベースにどのような影響を与えるかを明らかにし、テンプレート変更時の不安とリスクを解消します。Design Manager のライブラリとデータベースパネル内でテンプレートにリンクした要素は太字で表示され設計の引き継ぎ関係を明確に把握することができます。

Design Manager のもつ多くの機能の基本目標は明確化とコントロールです。例えば、

Design Manager の「グループオブ

ジェクト」機能は複数の設計要素をひとつの参照名で関連付け対象データベースにドラッグ & ドロップすることができます。「要素を比較」機能は、任意の2つの設計要素を比較することができます(例えば、異なるライブラリの同じ名前の2つの要素を比較したい場合に使用)。「コピー履歴のログ」はライブラリからデータベースへコピーされた要素のコピー履歴を追跡することができます。全要素と要素がコピーされたデータベースの一覧を表示することができます。すべてのデータベースが明瞭で統制が取れて効率的であるために、Design Manager は Teamstudio Analyzer、CIAO! Configurator とシームレスな連携が図れます。



DESIGN MANAGER はテンプレートにリンクする要素を太字で表示